

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和元年度第 1 回入間市立図書館協議会
開 催 日 時	令和元年 5 月 23 日 (木) 14 時 00 分 開会 ・ 15 時 57 分 閉会
開 催 場 所	入間市産業文化センター B 棟 2 階 研修室 A
議 長 氏 名	会長 白井久里子
出席委員(者)氏名	白井久里子、大竹千里、原田正則、清水繁、野崎皓布、秋元きみ江 田中宣子、青山衣津子、池田洋子
欠席委員(者)氏名	高橋春代
説明者の職氏名	館長 佐藤智 副主幹 渡部慎一郎 副主幹 松下麗比奈
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 会長あいさつ 3 教育部長あいさつ 4 報告事項 ①平成 30 年度図書館利用状況について ②平成 30 年度事業実績 5 協議事項 ①平成 30 年度社会教育施設アクションプラン ②令和元年度入間市立図書館事業計画 ③令和元年度社会教育施設アクションプラン 6 その他 7 閉 会 (すべて公開)
非 公 開 理 由	なし
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	・ 次第 (P1) ・ 平成 30 年度図書館利用状況について (P2～6) ・ 平成 30 年度事業実績 (P7～17) ・ 平成 30 年度社会教育施設アクションプラン (P18～33) ・ 令和元年度入間市立図書館事業計画 (P34～35) ・ 令和元年度社会教育施設アクションプラン (P36～38) ・ 図書館だより (平成 31 年 4 月号)
事務局職員職氏名	教育部長 新見輝明、教育部次長 関谷佳代子 図書館長 佐藤智、主幹 矢須良男、副主幹 渡部慎一郎 副主幹 松下麗比奈、主任 田中麻里
会議録作成方法	要点筆記方式

会 議 録 (2)

議事の概要(経過)・決定事項

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 教育部長あいさつ
4. 報告事項
 - (1) 平成30年度図書館利用状況について
渡部副主幹より説明。
 - (2) 平成30年度事業実績
松下副主幹、各分館長より説明。
5. 協議事項
 - (1) 平成30年度社会教育施設アクションプラン
渡部副主幹より説明。
 - (2) 令和元年度事業計画
松下副主幹、各分館長より説明。
 - (3) 令和元年度社会教育施設アクションプラン
渡部副主幹より説明。
6. その他
次回協議会開催日程について渡部副主幹より説明。
7. 閉会

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
渡部副主幹	<p>報告事項 (1) 平成 30 年度図書館利用状況について (資料に基づき説明) 前年度比で入館者数は 0.5%減、利用者数は 0.2%増、貸出点数は 0.4%増となります。資料点数は 4,196 点増加しました。</p>
佐藤館長	<p>総括をさせていただきます。 過去 5 年間では平成 26 年と比べ 1 万人近く図書館に来る方(入館者数)は増えています。また、利用者数(貸出者数)についてはピークの平成 27 年度より約 3 万人が減っています。つまり、図書館には来るけれど本は借りない方が増えている、ということになります。このことから、図書館基本計画でも掲げている「滞在型の図書館」を少しずつ実現できているという分析もできると思います。 貸出点数はピークの平成 27 年度と比べ約 8 万冊減っていますが、それに対しては特設展示や資料の面出し等で PR に努めており、館内に持ち運び用のカゴも設置しました。 一方、前年度比では約 4 千冊貸出点数が増えており、特に藤沢分館の貸出が増えました。これは、所沢の狭山ヶ丘分館改修に伴う休館により、藤沢分館の利用者が増加したことが要因とみられます。 図書資料数については除籍もしていますが、年々少しずつ増えてきています。今後も利用率の向上に努めてまいります。</p>
清水委員	<p>全く読書をしない学生が 6 割近くいる反面、1 時間以上読書をする学生が 2 割近くいるということで、二極化してきているなど感じます。 貸出点数についてですが、リクエストの多い本を少し増やすとか、寄贈をしていただくというのもひとつの手かなと思います。</p>
佐藤館長	<p>人気のある本は予約がかなり入るものもありますので、様子を見て同じ本を購入したり、寄贈して頂いたりというのは実際に行っています。ただ、あまり数を入れてしまいますと、他の本が買えなくなってしまったり、人気が無くなると途端に貸出しされなくなってしまったりしますので、そのあたりの様子をみながら取り組んでまいりたいと考えております。</p>
白井会長	<p>以前に返却しない方への利用制限の話があり、周知されて現在運用されているかと思いますが、その後現場では何か効果を感じていますか。</p>
佐藤館長	<p>1 つとしては、1 ヶ月を超えて返却のない方には督促状を毎月出しており、その件数が多い月で以前は 800 通くらいありましたが、今は 300~400 通くらいになっています。ですので、効果はでているのかなと思います。</p>
秋元委員	<p>ビデオの本数が少なくなっていますが、これは破棄しているのですか。</p>
佐藤館長	<p>おっしゃるとおりです。現在ビデオを再生する機械そのものが入手できなくなってきたとのことで、現在は DVD への買い替え等を行っており、使わなくなったものについては除籍しています。</p>

白井委員	P6にある、レーザーディスクというのほどのようなものでしょうか。
佐藤館長	レコードのLP盤ぐらいの大きさのDVDだと思って頂ければいいと思います。こちらも再生できる機器が少なくなっており、新しいものも出回らないことから利用が減っていると思われます。
松下副主幹	<p>(2) 平成30年度事業実績 本館からご報告いたします。</p> <p>「入間市生涯学習茶の都出前講座」(P7)は、「おおぎ保育園子育て支援センターあおぞら」から依頼があり、扇町屋公民館を会場に親子を対象とした読み聞かせ講座を行ったものです。参加者は少なかったですが、読み聞かせについて知っていただく良い機会になったと思います。</p> <p>「第36回入間市自然展」(P11)では、自然に関する本を特集して展示を行うことで、市民の方に手に取って頂けたと思います。</p> <p>「児童文学講演会」(P15)では、西武分館を会場に、絵本作家の葉祥明さんをお招きして講演会を行ったものです。大変著名な作家さんで、市外の方からも多くの問い合わせがあり、関心の高さが伺えました。本館では本の展示も行ったところ、たくさんの本が貸出しされ、また読みきかせなどにも使わせて頂きましたので、利用促進が図れたと思います。</p>
柿原分館長	<p>西武分館から簡単にご説明させていただきます。</p> <p>昨年度は、西武分館の視聴覚室をいかに利用しようかという議題がございました。その中で、通常の自主事業を視聴覚室と組み合わせて実施したものがございます。「冬のおたのしみ会」(P14)は、初めて視聴覚室で実施したところ、参加者の方、演者の方からも非常にご好評をいただきました。また今後も、視聴覚室を活用していこうと思っています。子どもの工作なども子ども上映会と絡めて進めていこうと思っています。</p>
深野分館長	<p>金子分館よりご報告いたします。</p> <p>一昨年度より、金子小学校に朝読書支援を毎学期実施しており、昨年5月からは金子中学校の方にもそれを広げることができました。平成30年度は合わせて1,200冊を上回る団体貸出をおこなっております。また、金子地区の地域包括支援センターと協力し、昨年5月に世界アルツハイマーデーというのがございましたので、それを記念して認知症の特集展示を行いました。その際認知症コーナーを常設で設置し、毎月ごとにテーマ展示も行っています。同センターが金子公民館で健康に関する講座を行っているのですが、本を中心とした支援をさせて頂いております。また、入間市博物館との連携事業ということで、新しく「鳴く虫のしくみ」(P11)という事業を実施しました。そのほか金子地区との衛生自治会との共催事業や、子育て支援サークルの支援として毎週読み聞かせ等を行いました。</p>
豊田分館長	<p>藤沢分館よりご報告いたします。</p> <p>児童向けの事業としては、「こわいおはなし会」(P10)「ぬいぐるみおとまり会」(P15)などを継続して実施しましたが、昨年度新たに「シャボン玉で遊ぼう」(P9)や「楽器のひみつ」(P16)などを開催しました。</p> <p>課題だった一般向けの事業につきましては「本の修理・ブックカバー体験講座」(P8)、公民館との共催事業で11月に「2018秋の映画会～ティータイム付」(P16)を実施し、映画の合間にロビーでティータイムを設け、映</p>

	<p>画にする本も読んでいただきながらお楽しみいただきました。「星空の宅配便～プラネタリウム」(P13)は子どもも一緒に参加いただける事業で、ドーム型の移動プラネタリウムに来ていただき、その日の入間市の星空を上映などを行い、一般の方にもご好評いただきました。今まで図書館をご利用されていなかった方にも来館いただき、本を借りていただくきっかけになったのかなと思いました。館内閲覧席の混雑解消については「試験前臨時学習室」(P12)の開設を10月より行いました。当日は、同時に館内に図書館資料閲覧のための専用の席を設け、一般の方にも比較的スムーズに席をご利用いただけましたと思います。</p>
原田委員	<p>金子分館の取り組みですが、子どもが自分で本を選んで読むというのが課題となっている中で、一番身近な学級文庫はある程度固定化してきて飽きてしまうという問題があるのですが、これを学期毎に変えていただけるというのはすごく有り難いことだと思います。</p> <p>藤沢分館の試験前臨時学習室というのも、子どもにとっては有り難いと思います。家ではリラックスしてしまいますし、誘惑するものも多くあまり勉強に適した環境ではないので、場所を変えてやりたいけれど図書館では席が限られている中で、こういう場所を作っていただいているというのは、子ども目線で有り難いのかなと思いました。</p>
秋元委員	<p>藤沢分館の試験前臨時学習室の貸出ですが、何年生くらいの方が何時から何時まで利用しているのですか。</p>
豊田分館長	<p>午前中は9時から12時まで開けています。そのあと部屋を変えることもございますので一度閉め、また13時から16時半まで開けています。特に年齢の制限はないので、小学生から一般の方までいらっしゃいます。お部屋については、公民館内でその時空いている学習に使える部屋を借りています。近くの藤沢中学校、上藤沢中学校に試験の日程を確認し、その日付の前の土日に開設しています。</p>
清水委員	<p>試験前臨時学習室に関連してですが、夏休み後半になると図書館の学習室が非常に混んで入れないこともあったので、できれば藤沢分館と同じように他の館もスペースの確保等できれば考えていただければと思います。</p>
佐藤館長	<p>実は、中央公民館の事業として「夏休み子ども居場所づくり」という事業がございます。夏休みの期間は、子どものために一部屋空けたりなどの取り組みをしているところですが、こちらの方も周知が行き届きご利用いただけるようになればと思います。</p>
池田委員	<p>臨時学習室を使える時間というのは決まっているのですか。</p>
豊田分館長	<p>特に時間の制限はございません。空いている限りはお使いいただけます。</p>
田中委員	<p>先ほどの学校に本を持っていくという話は、P29の「配本サービスの実施」のことと理解してよろしいですか。</p>
松下副主幹	<p>P17の2項目目に概要がございますが、小中学校や高校、保育所、学童保育室、社会福祉施設に対して本をこちらから持って行っております。こちらで本を選んで持っていく場合と、学校側から調べ学習に使用するということ</p>

渡部副主幹	<p>で依頼のあった本を配達する場合があります。</p> <p>協議事項</p> <p>(1) 平成 30 年度社会教育施設アクションプラン</p> <p>社会教育施設アクションプランは、公民館、博物館、図書館等の社会教育施設で毎年目標を立ててその結果を集計し評価を行い、公表していくという流れで行っております。図書館についても P18 表のように、集計をしています。P21 以降には各項目の自己評価と評価の理由、課題、今後の改善点を記載していますので、順番にご説明します。</p> <p>(P21～33 について説明)</p> <p>皆さまのお手元には、「図書館評価外部評価」の通知文と記入用紙、返信用封筒を配布させて頂いております。図書館の自己評価と違うと感じる部分がありましたら、その部分だけ点数を入れていただき、その他コメント等がありましたら、ご記入ください。こちらはお手数ですが 6 月 21 日までにご返送いただければと思います。集計の上、次回会議で報告した後に図書館ホームページ上で公表の予定です。よろしくお願ひします。</p>
野崎委員	<p>図書館について今後の市の計画を見ると、ずっと指定管理者で運営していくと書いてありますが、そのように進めていくにあたって指定管理者による運営の成果というのがこちらの評価項目にないなと思いました。</p> <p>また、在住外国人に対する資料の収集 (P21) とありますが、民生委員をしていて、自分の担当地域を歩いても相当数の方がいらっしゃいます。そういった中で、外国人の支援のための資料の収集をこんなにやっているのだなと思いました。今後ますますこういうことは大事になってくるのかなと思いますし、一方で日本人外国人の隔てなしに多言語化している状況がある中で、これらのことについて対応していく必要があるのかなと感じています。</p>
佐藤館長	<p>市民サービスの向上と経費の節減が指定管理者制度導入の大きな目的となっておりますが、図書館では現地調査を行って運営状況の確認をしたり、本社に出向いて賃金体系や労務契約等の調査を年に 2, 3 回と行っているところです。そうした中で、指定管理者自身も職員の研修等を積極的に取り組んでおりますし、指定管理者が行う利用者アンケートの中では接遇面で 9 割以上の方にご評価いただいています。ですので、運営面についても施設管理についても問題なく、安心して任せられると思っています。</p> <p>指定管理者の評価についてはアクションプランには項目がありませんが、現地調査や事業評価を別に行っております。そちらについては必要があればご覧いただけるか確認して、提供していければと思います。</p> <p>外国人については、自治文化課が外国人に関するパンフレットや PR 誌を用意しているところです。また、この部屋では毎週土曜日に外国人を対象とした日本語教室も開かれています。そのついでに図書館に立ち寄られる方もいるようです。ただ、図書館の外国語資料は英語のものが多いうのが現状です。色々な言語に対応していくという目標がございますので、そういった支援について今後考えてきたいというような内容です。</p>
青山委員	<p>P26 「魅力ある図書館づくりの推進」の 19 についてですが、広報いるまの特集記事について、年 1 回では少し寂しいかなと思いますので、増やせるのであれば、増やしていければいいのかなと思いました。</p> <p>FM 茶笛については普段ラジオを聴かないので放送内容はわかりません</p>

	<p>が、P27の自己評価理由の22で「一部内容について局よりご指摘をいただいた点があった」とありますが、具体的にどういった指摘だったのでしょうか。</p> <p>また、私の子どもの行っている保育園にもベトナム人やフィリピン人の子がいます。教育施設として制度が改定されている中で、保育園でも年中以上から勉強をやり始めていて、国旗や世界にはどんな場所があるのかといった勉強をしています。ですので、そういったことがわかるような絵本や図鑑などもこれから必要になってくるのかなとは感じているので、配本や普段の開架などで充実させていただければと思います。</p> <p>佐藤館長 広報いるまについては、毎月1日号がカラー版で、15日号は白黒のお知らせ版になっています。図書館では毎月1日号に、約1ページを頂いて行事のお知らせ等を掲載しています。年1回の特集記事というのは、見開きのページの記事で、年に1回枠をもらっています。こちらは色々な課が順番で記事の掲載をしていますので、増やすのはなかなか難しいと思います。</p> <p>FMですが、図書館では「本のある暮らし」というコーナーを毎週木曜日12:40頃から15分程度放送していて、職員のおすすめの本やイベントのお知らせなどを行っています。局からの指摘というのは、職員がおすすめの本として虫に関する本を紹介した際に、本の内容がお昼時に適さないのではないかという内容で、その点少し配慮が足りなかったのかなというところで、再度録り直しを行いました。今後本を選ぶ際の教訓にもなるように、評価は4とさせていただいております。</p> <p>外国語資料の選書については先程も申し上げましたが、今のところ英語の本が多いですが、東南アジアから来ている方も多いため、そういったところについては選書会議でも今後努力していきたいと思っています。</p>
清水委員	<p>外部評価をするにあたり教えて頂きたいのですが、P26の15の視聴覚ライブラリーについての評価が3と、他と比べ評価が随分低いと思いました。上映中断があった(P27)と書いてあり、放映機器の不具合が発生した(P28)とのことなので、これは機器が大分古くなっているということでの評価なのでしょうか。</p>
佐藤館長	<p>機器の不具合の詳細な内容については分館長からご説明します。視聴覚ライブラリーは協議会でも大分回数を割いてご協議いただいたところで、ご意見のあった学童の利用など、可能な限り実現し充実はしてきていると思います。また、2ヶ月に1回は邦画を上映したり、子ども向けの映画会を行うなどの活用はされていますので、その点についての評価は悪くありませんでしたが、たまたま機器の不具合があり、上映途中で中断してしまうということがありました。市民サービスとしてはあってはならないことですから、それで評価を低くしています。こちらについては、再度日を改め上映を行うということでご案内させていただいているところです。</p>
柿原分館長	<p>詳細についてご説明いたします。3月20日(土)に二本立ての映画の上映会を行いました。1時間経過したところでプロジェクターが青くなり動かなくなりました。私どもで触ってみてもどうにもならず、音は出るが映像が出ないという状態で、来場者にはお詫びをして上映会を中止させていただきました。業者を呼んで調査したところ、プロジェクターを結ぶケーブルが劣化していたため、差し替えました。その後、7月27日(土)に再上映することを決定し、既に告知しています。いつも上映の前には必ずそのテープは観て</p>

	<p>いますが、こういったことがありましたので、今後も入念な事前チェックを行う予定でございます。</p>
白井議長	<p>P26の20の図書館だよりについてですが、「良いけれど大人向けだよ、子ども向けの図書館だよりもあれば良いな」という意見を聞きましたのでお伝えします。</p>
佐藤館長	<p>図書館だよりの最後のページには、子ども向けブックガイドという部分もありますが、確かに全部そこまで見ないでしょうし、なかなか子どもが手に取っては見ないというのはよく分かります。飯能のようにこども図書館が分離してあるようなところは、子ども向けに作っているところも見受けられます。別途子ども向けにそういったものができるか、お時間を頂いて検討してまいります。</p>
秋元委員	<p>人気図書の寄贈についてですが、図書館だよりの端にでも「寄贈をお願いします」と書けば、何冊か集まるのかなと思います。</p>
佐藤館長	<p>図書館だよりではその時々を織り交ぜてPRしていますので、取り組めるところは取り組んでいきたいと思いますが、人気の本は色々な兼ね合いがありまして、現在は積極的には集めてはいない状況です。</p>
大竹委員	<p>本のリサイクルについてですが、図書館の本が万燈まつりで無料で配られたり、販売されていることが意外と知られていないと感じています。図書館でもそういったものをPRできる場があればいいなと思います。</p>
佐藤館長	<p>本の無料配布は毎年好評で、人だかりができるほど集まっているのですが、情報が十分に行き渡っていない部分もあるかと思います。図書館だより、広報いるま、ホームページ、館内等でご案内させていただいておりますが、引き続き努力して参りたいと思います。</p>
松下副主幹	<p>(2) 令和元年度事業計画 本館の事業についてご報告いたします。 概ね昨年度と同様の事業を計画しております。特に他の部署との連携事業を予定しております。5月26日(日)には、西武分館で開催の「入間子育てフェスティバル」に参加いたします。そのほか「入間市自然展」や「平和祈念資料展」、「夏休み子ども文書のつづり方教室」などございます。このような事業を通して、他部署との連携を深めていきたいと考えております。また、いまお話がありましたように「生涯学習フェスティバル」や「入間万燈まつり」で今年度もリサイクルフェアを予定しております。「生涯学習フェスティバル」については、今年度は産業文化センター改修工事に伴い、市民会館で行うと聞いておりますので、ただ今準備を進めているところでございます。</p>
柿原分館長	<p>西武分館より事業についてご説明いたします。 基本的には月1、2回は事業を行う予定でおります。昨年度好評だったものについては継続している事業もございます。工作の事業については、今までどおり親子で参加できるものを計画しています。今年度の目玉として、1月に視聴覚室を使って西武寄席を予定しています。その反響によっては、定例化も考えています。</p>

<p>深野分館長</p>	<p>金子分館より報告いたします。 今年度の事業計画としては、P34にある内容のとおりです。 先ほど学級文庫の支援のお話をいたしました。今年度6月から新久小学校の方にも学級文庫の支援を始めます。他にも調べ学習について、先生に手間のかからないかたちでの支援をさせて頂こうと考えております。また、昨年度より自然教育の取り組みをしており、今年度も5月に「樹木医が語る金子分館の周りの自然」、6月に「埼玉の水源林をシカ害から守ろう」という講座を予定しています。認知症予防の取り組みということで、金子公民館で地域包括支援センターがオレンジカフェを4月から実施しており、本の紹介や読み聞かせなどで毎回支援をさせて頂こうと考えております。3月は空欄ですが、現在認知症講座を予定しております。小さい子どもと高齢者との触れ合いを通じて認知症を理解してもらえようという内容で計画をしています。</p>
<p>豊田分館長</p>	<p>藤沢分館から説明させていただきます。 P35の定例事業についてですが、古典朗読会については長年「古典の会」の方々にご協力いただいておりますが、今年度もまた新しい朗読が夏頃から始まると伺っていますので、楽しみにしていただければと思います。毎週第3土曜日のおはなし会のあとには工作会を実施しており、大分定着しておりますので、さらに内容を工夫して一層の利用促進に努めていきたいと思っております。おはなし会には、乳幼児を中心に大勢ご参加いただいておりますので、前後の時間に「赤ちゃんタイム」を設定いたしました。試験前の臨時学習室については、今年度も随時実施してまいります。夏休みについては、今年度は休みが始まってすぐのタイミングの日程での設定を計画しております。 新たな事業といたしましては、3月に影絵のグループをお呼びして事業を計画しております。対象を限定しない事業としては、「目指せ1000ページ青空おはなし会」を前年度から継続して実施するとともに、7月にはハーバリウムを作る講座なども計画しており、さまざまな世代の方に楽しんでいただける図書館にしていきたいと考えております。</p>
<p>佐藤館長</p>	<p>以上4館ご説明申し上げました。 図書館そのものは、事業でたくさん人が来てくれれば良いということではなく、それが図書の利用や読書の推進に結びついて行かなければならないということに主眼をおいて、各館とも知恵を絞りながら企画しているところでございます。 ほかに共通事業として、市内16校の小学校の2年生を対象に利用教室の実施、3年生を対象に図書館見学を実施しておりますし、中学生の社会体験チャレンジ事業の受け入れもおこなっています。また、こちらには載っていませんが、高校生の社会体験や大学生のインターンシップの受け入れ、先生の研修を受け入れ等もございましたので、申し添えさせていただきます。</p>
<p>渡部副主幹</p>	<p>(3) 令和元年度社会教育施設アクションプラン (P36～38について説明) 図書館施設の計画的な整備(P38)ということで、ここで利用者用の館内コピー機を更新する予定です。今まで白黒コピー機でしたが、カラーコピー機を導入する予定です。そのほか西武分館については、2F資料室の空調の修繕を予定しています。 また、こちらには載っていませんが、本館の「現行日本法規」が加除式であるのですが、こちらのデータベース版を導入いたします。法令のほかに裁</p>

池田委員	判の判例等をパソコンで検索・閲覧することができるようになります。
深野分館長	金子分館からオレンジカフェのお話がありましたが、これは具体的にはどういふかたちでやっていたらっしゃるのですか。
渡部副主幹	<p>金子の地域包括センターが、扇揚苑で昨年度からやっていたのですが、金子の地域から遠く参加者がとても少なかったため、今年度から金子公民館で第3土曜日にやることになりました。金子分館としても本の協力も含めて色々支援させて頂こうということでやっております。</p> <p>その他 次回協議会開催日程について 7月25日(木)14時から産業文化センターA棟2階第2集会室で予定をしております。</p>
<p>議事の内容を末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>令和 / 年 7月 25日</p> <p>議長 の 署名 <u>白井久里子</u></p>	